



INDEX

・ 令和5年度 第4回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催	1-2
・ アニマルウェルフェア地域説明会の開催について	3
・ 令和4年 農業総産出額及び生産農業所得（農林水産省）	4-6
・ 統計データ	7
・ 協会活動報告	8

令和5年度第4回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催

今後の高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPAI という。）の防疫措置等に関して、（一社）日本養鶏協会は1月24日に令和5年度第4回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催しました。

令和5年シーズンの発生が現状規模で終息してほしいという祈りにも似た気持ちの中で、鳥インフルエンザ経営再建保険の保険金の支払いの取扱いをはじめとした報告が今回の委員会でされました。

前述の報告事項の中で、特に今後のHPAIに関する課題対応として、

- ① HPAI 防疫等に関する意見交換会の設置
- ② 埋却地に関するアンケート調査結果について

の報告をしました。

①については、うち続くHPAIの大規模発生のため、従来の防疫措置の考え方や公的支援のあり方では、生産現場の実情に適切に対応しきれないという生産者の声があり、今後長くHPAIと対峙するためには情報量の多い農林水産省と生産者団体が双方向で情報や意見の交換を行う環境が必要で、そのために意見交換会を設置するものです。

今後、会の運営方法や参加メンバー等を決めて、年度内にキックオフの会合を開催する方向でおります。

②については、HPAIに被災した生産者が経営再開するにあたり、埋却地の確保が必要とされる中、埋却地の確保可能性の実態はどのようなものか調査するために、大手の生産者に対して埋却地に関するアンケート調査を行いました。

結果は以下の通りですが、やはり発生2回目でも埋却できる飼育羽数は初回発生と比べてかなり低くなっています。こうしたデータをもとにして、埋却地確保の現状を農林水産省に訴求していくこととしています。

今年は暖冬のためか、生産者の皆さまの防疫の認識の高さと相まり、HPAIの発生は低く抑えられています。まだ寒く乾燥した気候は続きますので、引き続き警戒をお願いいたします。



埋却地に関するアンケート調査結果について

アンケート対象先（飼育羽数400千羽超）	69社
回答数	47社 (回答率 68.1%)
道府県別の回答農場数 ^{*1}	73農場

*1 複数の府県に農場所有する場合、府県別に区分して回答

自社所有の埋却地を確保している場合	羽数(千羽)
発生1回分は埋却出来る	64,523
発生2回以上でも埋却出来る	13,355
(小計)	77,878
借地あるいは公有地で埋却地を確保している場合	羽数(千羽)
発生1回分は埋却出来る	10,678
発生2回以上でも埋却出来る	57
(小計)	10,735
合計	88,613

埋却地が確保できていない	羽数(千羽)
	5,642

埋却地を確保する上で問題となるのはどのようなことですか？ 該当する欄に○印を記入ください(複数回答可)	回答数
周辺に適当な土地がない	30
土地はあるが購入できない	12
土地は購入出来そうだが周辺住民が反対している	12
その他： ・造成しないと埋却地として使用できない ・造成に資金が必要 ・水脈や動線が懸念される ・岩盤に当たったり水が出る可能性がある ・埋却のための用地であれば間違いなく反対される ・埋却予定地は市外であり、できれば近隣で探すよう言われている 等	13



アニマルウェルフェア地域説明会の開催について

農林水産省より、令和5年7月26日に「畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針」が発出されました。

これを踏まえ、養鶏業界としての今後の方針案について検討を進めるべく生産者のみなさまのご意見をいただくため、5つの地域協議会ごとに生産者会員に向けた説明会を実施することとしています。

なお、養鶏業界としての今後の方針案については、この説明会が終了した時点で所要の修正を加え、理事会等を経て、第75回総会に諮る予定です。

開催予定

■ 関東甲信越地区
開催日時：令和6年2月29日（木）14：00～ 開催場所：東京都 馬事畜産会館 2F 会議室
■ 九州地区
開催日時：令和6年3月4日（月）14：30～ 開催場所：福岡市 JR 博多シティ 9F 会議室
■ 中四国地区
開催日時：令和6年3月5日（火）14：00～ 開催場所：岡山市 サン・ピーチ OKAYAMA 3F マスカットホール
■ 中部地区
開催日時：令和6年3月8日（金）13：00～ 開催場所：名古屋市 大津橋ビル 5F 中会議室
■ 北日本地区 下記のスケジュールにより開催済みです
開催日時：令和5年12月20日（水）14：00～ 開催場所：仙台市 ホテル白萩

【お問い合わせ】

業務第3部 Tel:03-3297-5515



令和4年 農業総産出額及び生産農業所得（農林水産省）

令和5年12月22日、農林水産省から「令和4年 農業総産出額及び生産農業所得」が公表されました。採卵養鶏経営に係るデータをご紹介します。

1. 統計結果の概要

農業総産出額は、農畜産物の国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、平成27年以降、9兆円前後で推移してきました。

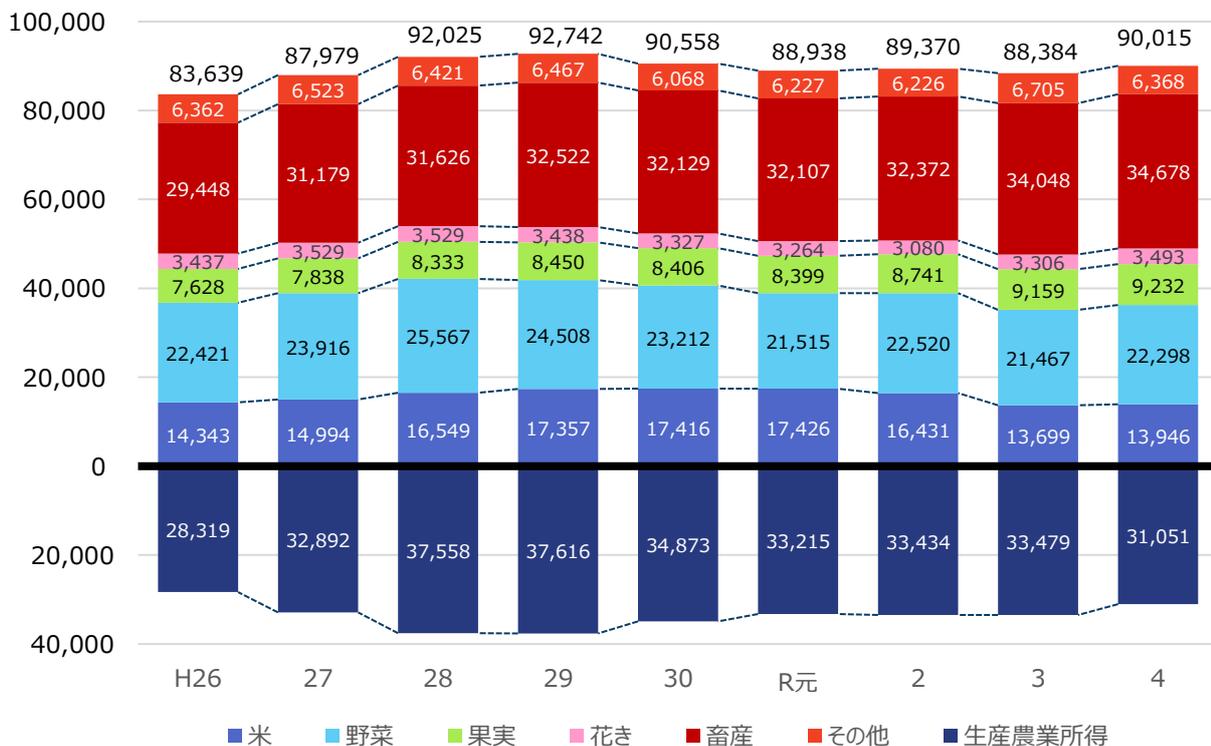
令和4年は、耕種において米や野菜、畜産において豚や鶏の価格が上昇したこと等から、前年に比べ1,631億円（1.8%）増加し、9兆15億円となりました。

生産農業所得は、平成27年以降、農業総産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移してきました。

令和4年は、国際的な原料価格の上昇等により、肥料、飼料、光熱動力などの農業生産資材価格が上昇したこと等から、前年に比べ2,428億円（7.3%）減少し、3兆1,051億円となりました。

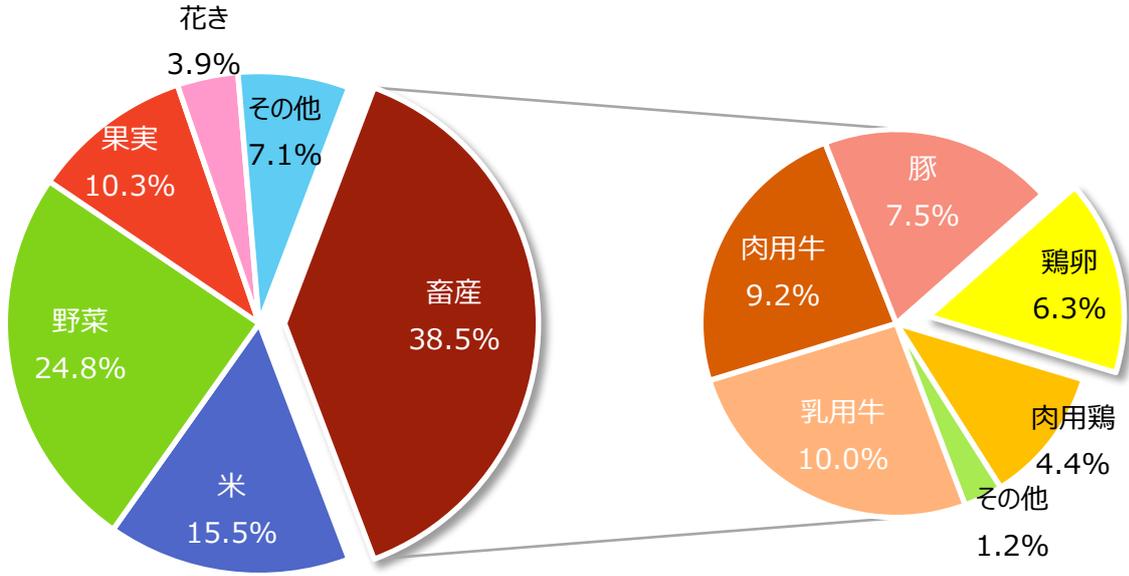
令和4年 農業総産出額及び生産農業所得の推移

単位：億円





令和4年 農業総産出額内訳



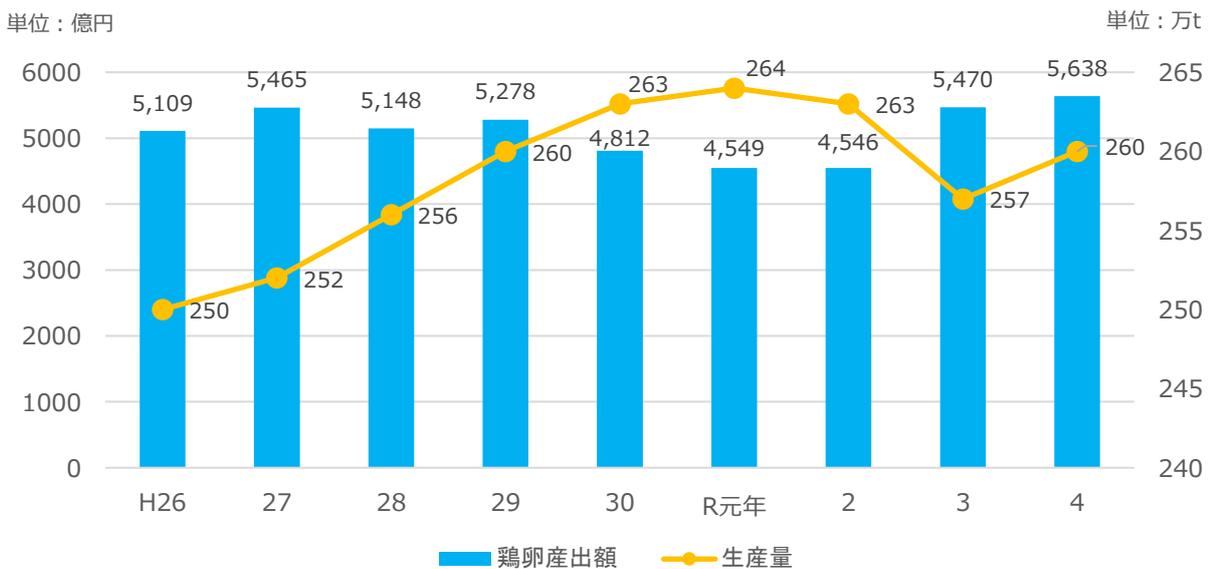
2. 鶏卵産出額の推移（全国）

経営の大規模化の進展等を背景に生産量は260万トン前後で推移する中、堅調な需要により、平成26年以降、鶏卵の産出額は5,000億円前後で推移してきました。

令和4年は、前年に比べ168億円（3.1%）増加し、5,638億円となりました。

これは、飼料価格等の生産コスト上昇に加え令和4年10月以降に発生した鳥インフルエンザの影響により、生産量が減少し、価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられます。

鶏卵の産出額及び生産量

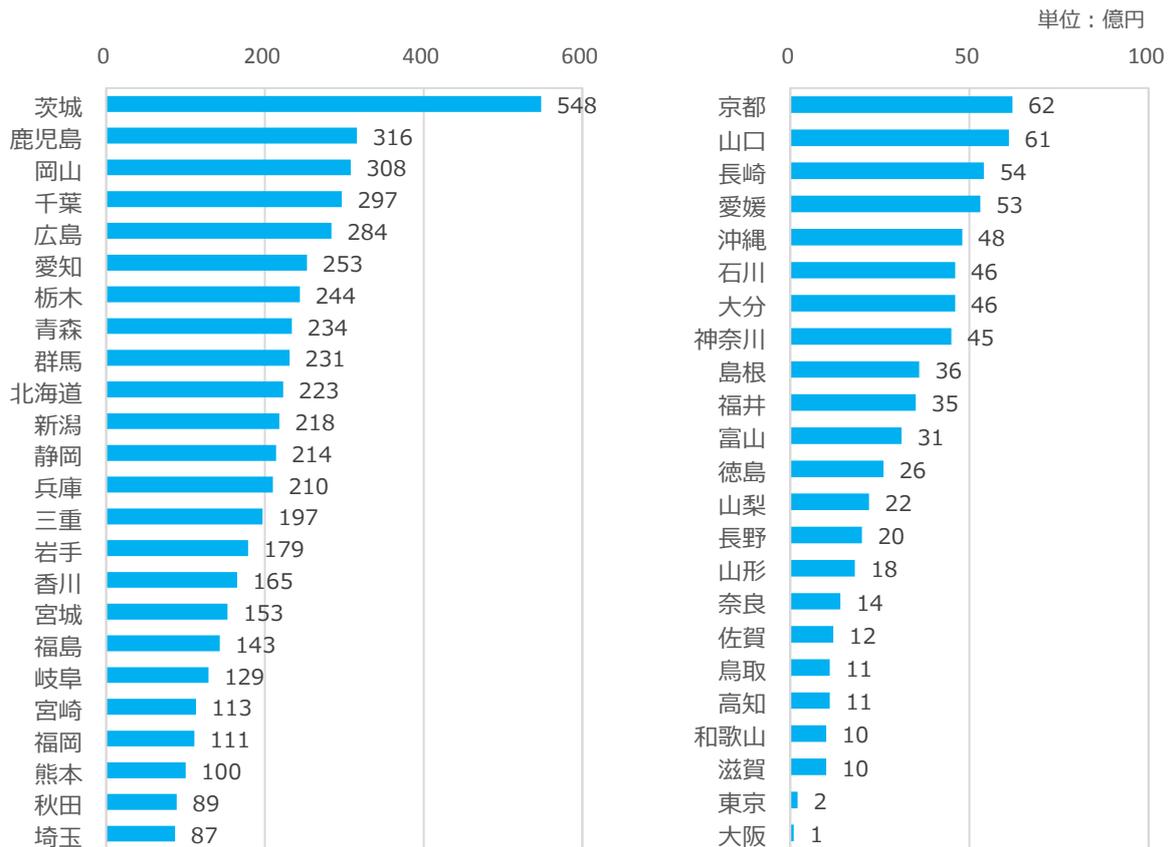




3. 鶏卵産出額（都道府県別）

鶏卵の都道府県別産出額をみると、茨城県が548億円(構成比9.59%)と最も高く、2位に鹿児島県316億円、3位に岡山県308億円、4位に千葉県297億円、5位に広島県284億円の順になっており、上位5県で生産量の30.67%を占めています。

鶏卵産出額（都道府県別）



■生産農業所得統計（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/

■令和4年農業総産出額及び生産農業所得（全国）（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/attach/pdf/shotoku_zenkoku_22.pdf

■令和4年農業総産出額及び生産農業所得（都道府県別）（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/attach/pdf/shotoku_kenbetu_22.pdf

【お問い合わせ】

農林水産省 大臣官房統計部経営・構造統計課 担当者：分析班

代表：03-3502-8111（内線3635）ダイヤルイン：03-6744-2042



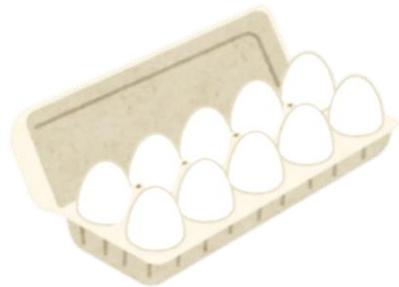
統計データ



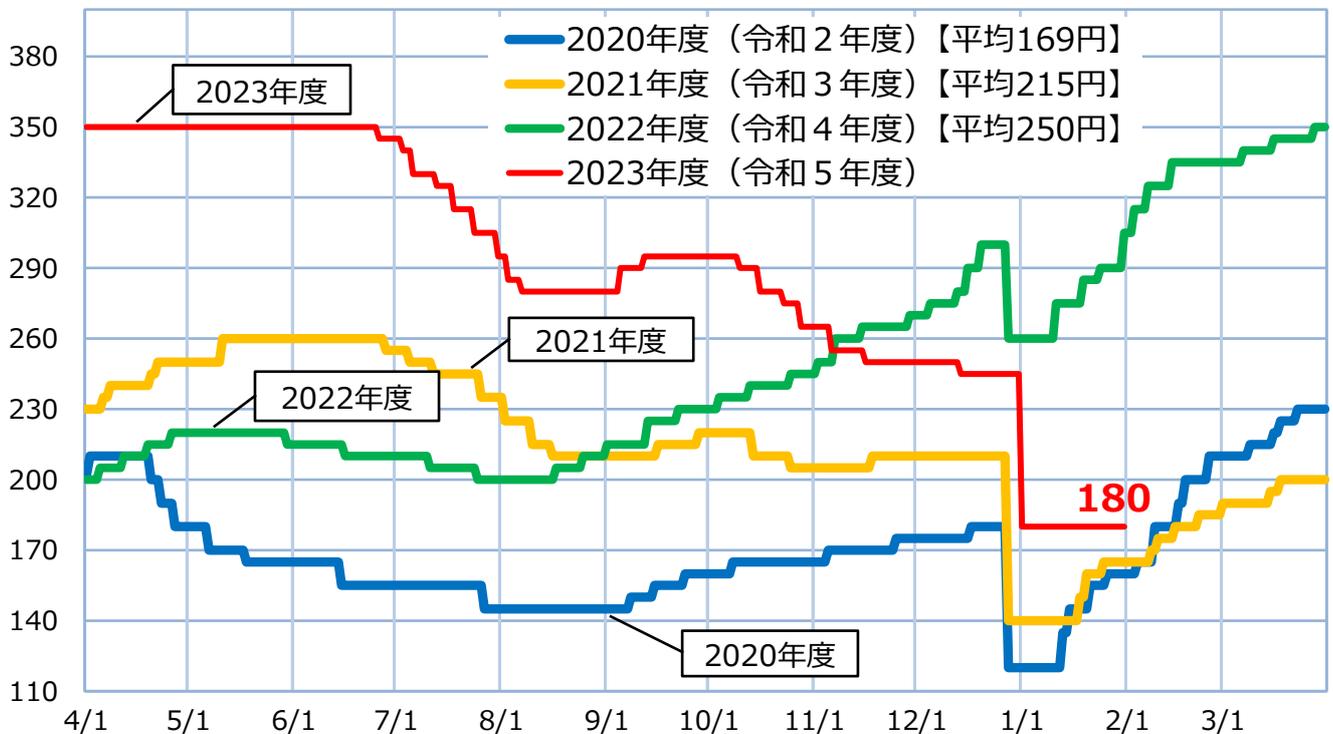
鶏卵相場動向 — 過去10年間の1月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成27年	192	223	174
平成28年	182	218	164
平成29年	179	213	159
平成30年	159	188	144
令和元年	121	163	94
令和2年	170	200	154
令和3年	142	180	114
令和4年	151	185	134
令和5年	280	329	254
令和6年	180	204	174
平均値	176	210	157

令和6年1月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値204円は、過去10年の平均値210円を6円下回り、安値174円は、過去10年の平均値157円を17円上回っています。



鶏卵相場推移 2020年度～2023年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は6月末から8月迄下降が続き、9月に入り上昇に転じ、1月末時点では、12月末から65円割安の180円まで下がった。



鶏卵関係主要計数 —— 令和5年11月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
4年12月	9,076	94.8%	511	96.9%	943	99.6%	210	284
5年 1月	8,475	99.3%	447	96.7%	898	96.8%	151	280
2月	8,289	95.6%	424	93.7%	849	94.8%	175	327
3月	9,470	102.4%	475	92.3%	828	86.3%	195	343
4月	8,715	98.6%	436	89.6%	846	92.2%	211	350
5月	9,349	100.5%	462	97.0%	833	89.0%	219	350
6月	9,641	114.1%	443	90.9%	817	94.9%	213	349
7月	9,325	103.4%	428	96.9%	813	88.8%	205	320
8月	8,694	102.5%	434	93.0%	859	97.9%	204	282
9月	8,053	102.9%	427	92.4%	849	96.2%	223	292
10月	8,801	104.7%	457	97.3%	891	93.2%	239	283
11月	8,671	98.9%	466	96.6%	876	96.2%	262	254
1年間合計 平均(%)	106,559	101.5%	5,410	94.4%	10,303	93.8%	209(平均)	310(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,671千羽（前年比98.9%）と前年比1.1%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、466千トン（前年比96.6%）と前年比3.4%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、876グラム（前年比96.2%）と前年比3.8%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の8円安を示しました。

協会活動報告

鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)① 価格差補填事業の事業参加者との
契約数量（単位：t）

令和 2年度	1,957,918
令和 3年度	1,840,695
令和 4年度	1,794,699
令和 5年度	1,731,712

② 標準取引価格

令和6年1月 173.09円/kg

③ 鶏卵価格差補填事業

補填基準価格 209円/kg

安定基準価格 190円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2024年2月6日

編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)